



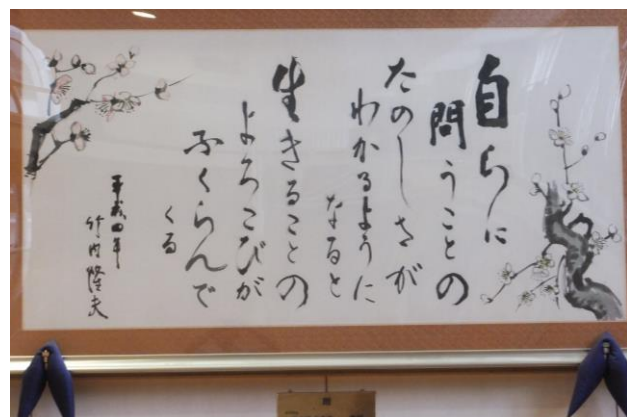
布施だより

《 西中創立 50 周年に向けて ～西中学校の宝物①～ 》

来年 50 周年（昭和 41 年創立）を迎える篠ノ井西中学校の校舎内外には、50 年の歴史を物語る「宝」が豊富にあります。それは過去の遺物などではなく、「現在」に脈々と受け継がれてきている西中の精神であり、屋台骨でもあります。

初代学校長竹内隆夫先生（S41～43 年度）は、昭和 41 年 4 月 1 日の開校式の折、次のように全校生徒に語りかけました。

～信越線以西、市の中学生 919 名が参集して学習するにふさわしい堂々たる大校を私どものために用意して頂きました。当市の政治の中心である市役所は真に古くみすばらしいが、それをそのままにしておいて、まず教育を優先に考えられ、立派な校舎を二校も（東中と共に）建設して頂きました。校舎建築のために、周りで働いてくださる中で、楽しく勉強させていただくのは申し訳なく、そしてもったいないことと思いますが、わたしどもに課せられた使命は、寸暇も惜しんで勉強することであり、建設の音に励まされ、一日一日しっかり勉強させてもらうつもりです。



どんな心がけで校舎を使わせてもらったらいいか、めいめいの宿題にしたい。誰にもすぐ分かることをひとつだけお話しすれば「校舎を汚さない」ということ。もし汚したならば後輩に対して大変恥ずかしいことになります。もし万が一うっかり壊すようなことがあったら、どうしたらよいか。その時こそ西中の生徒だ。正々堂々と謝りに来なさい。

人間は一生の間に失敗というものはあるものです。その時に責任を感じて心からお詫びできる明るく心の人になってほしい。そして、この明快な校舎に住むにふさわしい美しい心の人になるよう努めましょう。～

その竹内先生の言葉「自らに問うことのたのしさが わかるようになると 生きることのよろこびがふくらんでくる」に「梅の花木」が添えられ、西体育館ステージ左に掲げられています。長野県下に「自問清掃（自ら問い、自ら答えを出して、行動する。）」を広めた竹内先生の願いが込められた額が、集会等での生徒諸君の思考活動と、保健体育の学習や部活動での躍動を見守り続けてくれています。

竹内隆夫先生は平成 23 年、76 歳で、その生涯を閉じられました。

校舎内外に受け継がれている「篠ノ井西中学校 50 年」の歴史を少しずつ探訪していこうと考えています。皆様で知っていらっしやることありましたら、お教えてください。

《 言葉で説明する力 ～書くこと～ 》

8月末、1学年2クラスでの数学の授業を参観しました。

2つの授業の単元は「文字の式」、同じ単元であるのにアプローチしていく題材なり課題が違ってきます。ひとつの授業は「1辺に n 個の基石を並べて正三角形をつくるときの基石の合計の式の意味を考える場面で、基石のまとまりに着目し、 $n-2$ のまとまりを図に表すことを通して、文字の式の意味を理解し、説明する事ができる。」を目標とします。

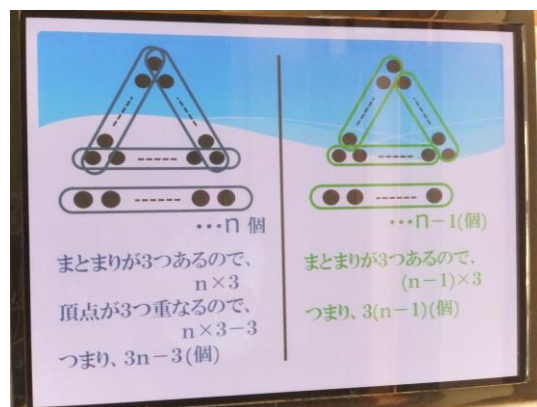
もうひとつクラスは「兄の身長と弟の身長とその差から等しい関係を見つける場面で、図や言葉、具体的な数字を使うことを通して、等しい関係である2つの数量をとらえ、等式をつくる事ができる。」が目標です。同じ単元であるのに、違うアプローチをしていく。ここにこそ追究の妙があるのでしよう。

両者の授業に共通している収穫は何と言っても、「説明する」言語活動を積極的に取り入れているところでした。自分が選択した解決を自分の思考で、そして数学的言語を活用して説明を試みさせようとしたところ。

いかに理論的な説明を試みようとするか、生徒達は基石のまとまりに○を書いたり、兄と弟のイラストを描いたり、その差を視覚的に理解し、等式でつなげていきます。

そして特筆すべきは、2クラスの授業に共通している「ノートの取り方」の整然さです。学習を見返すことができるノート作成がなされています。小学校からの、そして入学してから1学期の追究の積み上げが形となって表れてきています。さらに生徒たちは個人追究でつまずくと仲間に聞きます。穏やかな表情で聞き、解決の糸口をもらおうと嬉しそうに笑顔を返します。生徒同士の支え合いが学習の基盤として位置づいてもきています。

授業を参観している数学の教室ではまっすぐに数式を言葉で説明しようとする生徒達がいて、隣の教室からは英語学習の様子が伝わってきて、音楽室からは音楽会で歌うであろうアンジェラ・アキさんの「手紙」が聞こえてきて、グラウンドからは楽しげな喚声が聞こえてきて、……学んで力をガッツリとつけようとしている西中の秋のひと時を幸せに感じていました。



《 秋の文化活動に、スポーツ活動に 収穫の時です！ 》

- <合唱部> 8月30日(土) 於：岡谷
NHK 全国音学コンクール長野県大会 銀賞
- <吹奏楽部> 8月31日(日) 於：伊那
中部日本吹奏楽コンクール長野県大会 銀賞
- <柔道部> 8月31日(日) 於：更埴
千曲市民体育祭 中学生男子団体 優勝
中学生女子団体 3位

《 658のSTORIES ～光り輝く永遠の思い出を～ 》

テーマ【658のSTORIES ～光り輝く永遠の思い出を～】で開催される「第49回銀河祭」の1日目に行われる「音楽会」の発表順序が3日(水)に生徒集会でありました。くじを引く度に歓声と拍手の、ドキドキワクワクの抽選会でした。次は音楽会に寄せられた3年生生徒の感想です。

- 時が進むのはすごい早いです。もう3週間後には銀河祭です。なんか、あっという間です。今日の音楽の授業では、永野先生に熱がこもっていました。いつもより長く、ずっと歌い続けていました。順番は最初です。3年なので最初を頑張らないと。
- 生徒集会がありました。一番最後に行われるメインイベント「音楽会抽選会」で音楽会の順番が決まりました。なんと〇〇君が、くじ運の強さを発揮し(笑)、私たちのクラスが第49回音楽会のトリになりました。一番最後、音楽会のシメにふさわしい演奏ができるように、あと練習できるのは14日間ですが、一日一日を大切に、時間を有効に使っていただきたいと思います。



<9月26日(金)>

- 登校 8:10
- 開祭式 9:00～ 9:30
- ステージ発表(意見発表、英語弁論) 9:40～10:15
- 総合的な学習発表 10:15～10:45
- 音楽会 12:45～15:55
1部(2学年) 2部(1学年) 3部(3学年)
- 下校 16:40

<9月27日(土)>

- 登校 8:10
- 総合的な学習発表 8:50～ 9:10
- 生徒会一企画 9:10～10:20
- 洋裁部発表 10:30～10:45
- 合唱部発表 10:45～11:20
- 吹奏楽部発表 11:30～12:05
- 閉祭式 13:00～14:00
- 下校 15:30

*多くの皆様のご来校をお待ちしています。